

第101回企画展

古代エジプトの世界 一過去・現在一

2026年4月15日(水)～6月8日(月)

「古代エジプト」は日本において衰えぬ人気を持っており、毎年のように特別展が開催されています。一方で、天理参考館はおよそ380点の古代エジプト関連資料を有しているものの、1963年に天理ギャラリー第4回展として天理図書館所蔵書籍との共同展示がなされて以降、古代エジプトに関連する特別展は開催されてきませんでした。その間、資料の製作年代や学術的な価値が明らかになったものも少なからず見受けられます。

本展覧会では、天理参考館の所蔵する古代エジプトの物質文化を最新の解釈を踏まえて展示し、その根底にある当時の死生観や、超自然的存在への畏敬の念などを理解してもらうことを目的とします。さらには、19世紀のヨーロッパ諸国による古代エジプトの「発見」以降、それが現代社会の中でどのように扱われてきたのかということの一端を、当館所蔵資料に加えて、天理図書館所蔵図書なども展示することで紹介する予定です。

■出品数 約60件

■展示構成

第Ⅰ部 死後の世界

遺体に防腐処理を施したミイラを覆っていたカルトナージュや、それを納めた人形木棺、および副葬品などを通して、そういった物質文化に込められた古代エジプトの死生観を紹介する。

[主な展示資料] 人形彩画木棺、木棺断片(顔部分:初公開含む)、ミイラ被い、スカラベ、ウシャブティなど副葬品 ほか



ミイラ被い

第Ⅱ部 神と悪魔

古代エジプトは多神教世界であり、人の形をした神だけでなく、動物や昆虫の姿をした神もいる。

それらの中には他地域の神と習合し、ギリシアなどへと影響を及ぼしたものもある。一方で古代エジプトには、現在我々がイメージするような「悪魔」に相当する概念はなかったが、死後の世界で死者に危害を加える存在があることは認識されていたようである。ここでは、そういった超自然的存在について紹介する。

[主な展示資料] オシリス神像、イシス神像、ハトホル神像、精霊像、木棺断片(聖牛) ほか



イシス神像

第Ⅲ部 古代エジプトの「発見」

19世紀に入ると、長らくイスラーム王朝の支配下にあったエジプトにも、ヨーロッパ諸国が介入するようになる。現地を訪れたヨーロッパの研究者たちが書籍を通して発表することで、人々の古代エジプト文化への関心が高まり、また古代エジプト語が解読されたことで、その理解は急激に進むこととなった。ここでは、近代における古代エジプトの「発見」の端緒ともなった書籍のほか、ヨーロッパでの関心の高まりを示す来歴を持つ資料を提示する。

[主な展示資料] C. R. Lepsius, Denkmäler aus Aegypten und Aethiopien(天理図書館蔵)

A. Erman and H. Grapow, Wörterbuch der Aegyptischen Sprache(天理図書館蔵)

木製パレット、葦製筆記具
新王国時代供養碑 ほか



木製パレット・葦製筆記用具

第Ⅳ部 エピローグ—現代の中の古代エジプト

古代エジプト文明は、今もなお我々を魅了してやまない。ここでは、1959年収集資料などを基に、現代社会の中で古代エジプト文明の文化財がどのように利用されているのかについて紹介する。

[主な展示資料] 1959年収集 タバコのケース、エジプト貨幣、宝くじ、駐日エジプト大使館寄贈 石製壺
ほか

■関連イベント（要入館券）

I. 特別講演会

講師: 田澤恵子氏(古代オリエント博物館 研究部長)

5月16日(土) 午後1時30分～3時 / 会場: 研修室 / 定員: 100名 [当日先着順]
受講料 700円(入館料を含む)

II. 講演会(トーク・サンコーカン)

講師: 間舎 裕生(天理参考館学芸員)

5月29日(金) 午後1時30分～3時 / 会場: 研修室 / 定員: 100名 [当日先着順]
要入館券

III. ギャラリートーク(マンデートーク)

講師: 間舎 裕生 (天理参考館学芸員)

4月20日(月) 午後1時30分～2時 / 会場: 3階企画展示室
要入館券

■開催概要

展覧会名 第101回企画展「古代エジプトの世界—過去・現在—」

会場 天理大学附属天理参考館 3階企画展示室

会期 2026年4月15日(水)～6月8日(月)

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

休館日 4月21日(火)、4月28日(火)、5月7日(木)、5月12日(火)、5月19日(火)、6月2日(火)

入館料 大人 500円、団体(20名以上)400円、小中高生 300円(学校団体の見学は無料、要事前申込)

※障がい者およびその介護者1名は無料。受付カウンターに障がい者手帳等またはミライロIDをご提示下さい。

主催 天理大学附属天理参考館

後援 天理市・天理市教育委員会・古代オリエント博物館・歴史街道推進協議会

協力 天理大学附属天理図書館

第101回
企画展サイト



■お問い合わせ 天理大学附属天理参考館 〒632-8540 奈良県天理市守目堂町 250 番地
TEL.0743-63-8414 FAX.0743-63-7721 E-mail:san-info@sta.tenri-u.ac.jp
展示担当/間舎 裕生(考古美術室 学芸員) / 広報担当: 山口・渡辺

■第101回企画展「古代エジプトの世界—過去・現在—」広報用画像リスト

これらの広報画像は当館ウェブサイトのプレスリリース内(第101回企画展「古代エジプトの世界—過去・現在—」よりダウンロード可能です。使用に関しては以下の注意事項を遵守してください。

・キャプションには以下の通り記載してください。

【1】ミイラ被い エジプト プトレマイオス朝時代(紀元前4～前1世紀)(天理大学附属天理参考館 所蔵)

【2】「ウジャトの眼」護符 エジプト 年代不詳 (天理大学附属天理参考館 所蔵)

【3】木棺断片(聖牛) エジプト 末期王朝時代(紀元前7～前4世紀)(天理大学附属天理参考館 所蔵)

【4】ハルポクラテス神像 エジプト 第3中間期～プトレマイオス朝時代(紀元前11～前1世紀)(天理大学附属天理参考館 所蔵)

【5】ミイラ木棺顔部分 エジプト 第3中間期～末期王朝時代(紀元前11～前4世紀)(天理大学附属天理参考館 所蔵)

【6】ポスター

・写真(画像)のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。写真(画像)の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】

